

安城市内景況調査結果

(平成24年7月～9月)

〈景況は足踏み状態から、先行き不安感により景気後退〉

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 75企業

2. 調査対象時期 平成24年7～9月期

(1)前年同期(平成23年7～9月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成24年10～12月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	31	11	19	14	75
構成比	41.3%	14.7%	25.3%	18.7%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIは、前年同期と比較し△12.0ポイントと低下した。製造業以外の業況判断DIはマイナスとなった。売上単価のDIは、依然マイナスである。

来期の業況判断DIについては、△53.3ポイントで全産業とも下降を見込んでおり、中国リスクによる先行き不安が製造業を中心に影響している。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	10.0	△12.0	△53.3
売上高	△3.3	△16.0	△52.0
売上単価	△33.3	△42.7	△42.7
資金繰り	△3.3	△2.7	△22.7
借入難度	13.3	9.3	0.0
収益状況	△3.3	△12.0	△48.0
雇用人員	△6.9	△8.0	0.0

凡例▶ 30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△12.0		0.0		△54.5		△5.3		△14.3	
	売 上 高	△16.0		3.2		△54.5		△15.8		△28.6	
	売 上 単 価	△42.7		△48.4		△45.5		△47.4		△21.4	
	資 金 繰 り	△2.7		12.9		△18.2		△15.8		△7.1	
	借 入 難 度	9.3		22.6		9.1		10.5		△21.4	
	収 益 状 況	△12.0		△6.5		△36.4		△10.5		△7.1	
	雇 用 人 員	△8.0		3.2		△9.1		△15.8		△21.4	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△53.3		△61.3		△72.7		△42.1		△35.7	
	売 上 高	△52.0		△61.3		△63.6		△36.8		△42.9	
	売 上 単 価	△42.7		△51.6		△72.7		△31.6		△14.3	
	資 金 繰 り	△22.7		△29.0		△18.2		△21.1		△14.3	
	借 入 難 度	0.0		6.5		△9.1		5.3		△14.3	
	収 益 状 況	△48.0		△64.5		△54.5		△36.8		△21.4	
	雇 用 人 員	0.0		19.4		△18.2		△15.8		△7.1	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。